



Q & A

最終更新日：2019年8月9日

[LD-SKAIP の利用登録前](#)

[LD-SKAIP の利用登録申込～仮利用](#)

[LD-SKAIP の本利用](#)

操作マニュアル-1- → 操作1

操作マニュアル-2- → 操作2

操作マニュアル-3- → 操作3

操作マニュアル-抜粋版- → 操作抜粋

(各マニュアルのページ数は最新版を参照)

■基本的な iPad の操作方法は説明していない。Apple 社の公式サイトやインターネットの検索エンジンで検索して確認する。

LD-SKAIP の利用登録前

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [LD-SKAIP のステップ I は誰でも利用できるのか](#)
- ・ [LD-SKAIP のステップ II・III はどうしたら利用できるのか](#)
- ・ [LD-SKAIP を利用するにはなにが必要になるのか](#)
- ・ [iPad のモデルはなにがよいか](#)
- ・ [iPad の Wi-Fi モデルと Wi-Fi+Cellular モデルはなにが違うのか](#)
- ・ [検査をするのに、なにが必要になるのか](#)
- ・ [日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページの「LD-SKAIP 利用」をクリックしても、LD-SKAIP 利用者管理システムに入れない](#)
- ・ [マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）の「利用登録／講習会申込」をクリックしても、次の画面に進めない](#)
- ・ [LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない](#)
- ・ [アプリはステップ I、II、III すべてダウンロードしなければいけないのか](#)

LD-SKAIP の利用登録申込～仮利用

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない](#)
- ・ [アプリはステップ I、II、III すべてダウンロードしなければいけないのか](#)
- ・ [アプリにログインできない](#)
- ・ [講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップ II（・III）が起動しない・クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [クラウドシステムにログインできない](#)
- ・ [インターネットには常に接続している必要があるか](#)
- ・ [クラウドシステムのログインページが分からない](#)
- ・ [LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない](#)
- ・ [パスワードを忘れてしまった](#)
- ・ [LD-SKAIP ID を忘れてしまった](#)
- ・ [操作マニュアルをダウンロードしたい](#)
- ・ [回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい](#)
- ・ [これまでとは別の（新しく購入した）iPad で LD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か](#)

LD-SKAIP の本利用

- ・ [LD-SKAIP の適用範囲を教えてください](#)
- ・ [LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか](#)
- ・ [アプリにログインできない](#)
- ・ [講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップ II（・III）が起動しない・クラウド](#)

[トップにもどる](#)

ドシステムにログインできない

- クラウドシステムのログインページが分からない
- LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない
- パスワードを忘れてしまった
- LD-SKAIP ID を忘れてしまった
- 操作マニュアルをダウンロードしたい
- 回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい
- これまでとは別の（新しく購入した）iPad でLD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か
- LD-SKAIP ステップⅡ講習会、ステップⅢ講習会を受講した者がS.E.N.Sの会支部会で伝達講習会を行ってもよいか
- 検査を実施する際は事前に保護者に説明しなければならないのか
- ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢをそれぞれ別の日に行ってもよいか
- 検査を中断したい時はどうすればよいか
- ステップⅡ読字・書字・計算を中断し、そこまでの所見を確認したい時はどうすればよいか
- ステップⅡ読字・書字・計算を途中から実施し、実施分の所見を確認したい時はどうすればよいか
- 検査実施後すぐに採点・同期しないとイケないのか
- 検査実施後すぐ別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施してもいいのか
- アプリを終了するとログアウトしてしまうのか
- ログアウトは必ずしないとイケないのか／ログインしたままでもよいか
- ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか
- ヘッドフォンから音が聞こえない
- ヘッドフォンをつけるのを嫌がる
- ステップⅢ算数で画面のメモに文字を書くのが難しい
- iPad の電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった
- アプリが固まってしまった
- アプリが正常に動作しない
- 同じ児童に再度検査を実施したい
- どれくらいあけたら同じ検査を再度検査してよいか
- 年度が変わったが同じ識別名で検査してよいか
- 年度が変わったが、ステップⅠは新しい担任につけてもらった方がよいか、前の担任につけてもらった方がよいか
- 検査を実施したのに、所見が見られない
- 音声データ（ステップⅡ補助検査：音韻、ステップⅢ読み）を聞くことができない
- 採点をしたのに「採点」のボタンが表示されたままになる
- クラウドシステムに結果データを同期（送信・受信）できない
- クラウドシステムで検査結果の閲覧・ダウンロードができない
- 結果を印刷したい

- ・ [結果を保護者に説明する際、結果データをそのままお渡ししてもよいか](#)
- ・ [クラウドシステムでステップⅢ算数の回答内容が表示されない](#)
- ・ [検査データを同期したのに、「結果受信」のボタンが表示されない](#)
- ・ [iOSのバージョンはどこで確認するのか](#)
- ・ [iOSのアップデートとは何か](#)
- ・ [LD-SKAIPアプリのバージョンアップはしないといけないのか](#)

■LD-SKAIP の適用範囲を教えてください

LD-SKAIP は小学1年生～6年生を対象とした検査である。

■LD-SKAIP を中学生にも検査実施できるか

LD-SKAIP は小学1年生～6年生を対象とした検査であり、標準化のデータは小学1年生～6年生を対象にしている。そのため、中学生を検査した場合、小学6年生（12歳6か月以上）の基準値によって評価される。

評価の判定がBやC、支援の必要性があると示された場合は、その能力が弱いと判断でき、その他の検査や日常の学習の様子を踏まえて支援・指導を行っていく。

評価の判定がA、今のところ支援の必要性はないと示された場合は、小学6年生の基準では問題がない、ということであり、生徒の実際の学年、年齢で問題が本当にないかどうかはわからない。そのため、その他の検査や日常の学習の様子を踏まえてさらに検討を行う必要がある。

以上を踏まえ、検査者の判断でLD-SKAIPを実施する。

この際、生年月日は生徒自身の生年月日を登録し、学年は6年と登録して実施する。

■LD-SKAIP のステップ I は誰でも利用できるのか

2019年8月5日現在はLD学会会員が利用できる。

■LD-SKAIP のステップ II・IIIはと思ったら利用できるのか

ステップIIとステップIIIは利用登録とステップII講習会の受講、ステップIII講習会の受講をすることで利用できる。

2019年度の各講習会の受講対象はS.E.N.SおよびS.E.N.S-SV有資格者のみである。有資格者以外を対象とした講習会は今後開催予定である。

講習会については特別支援教育士資格認定協会のホームページおよびメールで案内する。

■LD-SKAIP を利用するにはなにが必要になるのか

ステップIを利用するには、iPadが必要である。

ステップII、IIIを利用するには下記の機器、環境が必要である。

- ・iOS9～12のiPad

(9.7、10.5、11インチいずれかのiPad、iPad Pro、iPad Air)

容量16GB以上、Wi-Fiモデルまたはセルラー(Wi-Fi+Cellular)モデル

*iPad mini および12.9インチiPad Proは検査環境が異なるため推奨しない

- ・マイク付きヘッドフォン(ステップIIのみ)

(→[ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか](#))

- ・iPad対応のスタイラスペン(筆圧感知:なし・ありどちらでも可、

ペン先:シリコンゴム、導電性繊維、樹脂いずれも可

[トップにもどる](#)

Apple Pencil は対応の iPad ならば可)

- ・パソコン (Windows7、Windows8、Windows10、Mac OS X 10.4 以降)
- ・ブラウザソフトウェア (Internet Explorer、Firefox、Safari、Google Chrome、Microsoft Edge のいずれか)

*ただし、Internet Explorer では PDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のブラウザを利用する

- ・PDF 閲覧ソフト (<https://get.adobe.com/jp/reader/> から無料ダウンロード可)
- ・Wi-Fi 環境 (アプリダウンロード、ユーザー登録、ログイン、クラウドへの結果送信時に必要。検査実施時には Wi-Fi 環境は不要である)

■ iPad のモデルはなにがよいか

LD-SKAIP は標準化の際、画面サイズ 10.5 インチ、9.7 インチの iPad でデータを収集している。児童に検査を行う際は 9.7 インチ、10.5 インチ、11 インチのいずれかの iPad、iPad Pro、iPad Air を利用する。

12.9 インチ iPad Pro や iPad mini は検査環境が異なるため推奨しない。

■ iPad の Wi-Fi モデルと Wi-Fi+Cellular モデルはなにが違うのか

Wi-Fi モデルは Wi-Fi の環境で接続しているときのみインターネットにつなげることができる。

Wi-Fi+Cellular モデルでは Wi-Fi に接続していなくてもインターネットにつなげることができる。

LD-SKAIP の利用にはどちらのモデルでも可能である。

LD-SKAIP はアプリのダウンロードや検査結果の同期の際には Wi-Fi の環境が必要である。Wi-Fi 環境ではないモバイルネットワーク通信の状態では容量が大きいため、アプリのダウンロードや検査結果の同期を実施することはお勧めしない。

■ 検査をするのに、なにが必要になるのか

ステップ I の実施には、iPad が必要である。

ステップ II・III では

- ・iOS 9～12 の iPad
(9.7 インチ、10.5 インチ、11 インチのいずれかの iPad、iPad Pro、iPad Air
容量 16GB 以上、Wi-Fi モデルまたはセルラー (Wi-Fi+Cellular) モデル)
* iPad mini および 12.9 インチ iPad Pro は検査環境が異なるため推奨しない

- ・マイク付きヘッドフォン (ステップ II のみ)

(→[ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか](#))

- ・iPad 対応のスタイラスペン (筆圧感知：なし・ありどちらでも可、
ペン先：シリコンゴム、導電性繊維、樹脂いずれも可

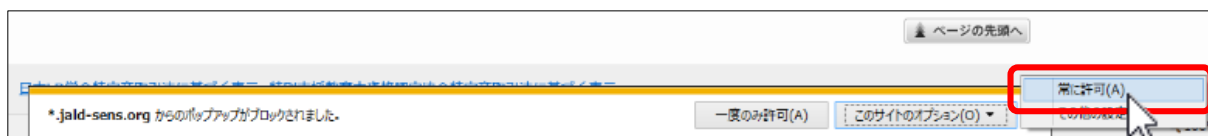
[トップにもどる](#)

Apple Pencil は対応の iPad ならば可)

が必要である。

■日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページの「LD-SKAIP 利用」をクリックしても、LD-SKAIP 利用者管理システムに入れない

「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出て、マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）に遷移しない場合は「このサイトのオプション」－「常に許可」をクリックし、今後ポップアップがブロックされないように設定を変更してから再度「LD-SKAIP 利用」をクリックする。



ポップアップブロックの設定解除方法は下記から確認することができる

<https://jald-sens.org/entry/SettingPopup.pdf>

■マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）の「利用登録／講習会申込」をクリックしても、次の画面に進めない

「ポップアップがブロックされました」というメッセージが出て、次の画面に遷移しない場合は「このサイトのオプション」－「常に許可」をクリックし、今後ポップアップがブロックされないように設定を変更してから再度「登録状況確認はこちら」をクリックする。



ポップアップブロックの設定解除方法は下記から確認することができる

<https://jald-sens.org/entry/SettingPopup.pdf>

■LD-SKAIP のアプリダウンロード先がわからない（操作 1 p. 35、操作抜粋 p. 35）

LD-SKAIP は iPad 用のアプリである。Android には対応していない。

各ステップのアプリは下記 QR コードを読み取ってダウンロードページにアクセスし「入手」－「インストール」をタップし、指示に従ってダウンロードする。



LD-SKAIP ステップ I



LD-SKAIP ステップ II



LD-SKAIP ステップ III

それぞれの URL は下記のとおりである。

ステップ I

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1373157750?l=ja&ls=1&mt=8>

ステップ II

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1375372760?l=ja&ls=1&mt=8>

ステップ III

<https://itunes.apple.com/us/app/スカイプ-ステップ/id1375375145?l=ja&ls=1&mt=8>

■アプリはステップ I、II、IIIすべてダウンロードしなければならないのか

各アプリはそれぞれ独立しているため、ステップ I のみ、ステップ II のみ、ステップ III のみをダウンロードして利用することもできる。ただし、検査結果の採点や所見を見るにはステップ I のメインメニュー「児童管理」から児童選択をする必要がある。そのため下記の組み合わせでダウンロードし、使用する。

ステップ I のみ

ステップ I、II

ステップ I、II、III

■アプリにログインできない

①インターネットに接続していない

ログインする際は、ID とパスワードの認証を行うため、インターネットに接続している必要がある。インターネットに接続した状態でログイン操作を行う。

②ID・パスワードが間違っている

ID : LD-SKAIP ID を入力する。LD-SKAIP ID はマイページ (LD-SKAIP 利用者管理システム) で確認することができる。(確認方法は操作 1 p. 30、操作抜粋 p. 30 参照)

パスワード : 日本 LD 学会 / 特別支援教育士資格認定協会マイページで使用しているパスワードを入力する。

③パスワードの変更が反映されていない

マイページでパスワードを変更した際は、一度 LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスするこ

とが必要である。LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスすることで、日本 LD 学会のマイページでのパスワード変更が LD-SKAIP システムに反映される。

■講習会の受講を申し込み、費用を納入したのにステップⅡ（・Ⅲ）が起動しない・クラウドシステムにログインできない

①参加費納入の情報が反映されていない

講習会申込・参加費納入から仮利用が可能になるまでに5営業日程度かかる。マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）でステップⅡ（・Ⅲ）に仮利用期間中の表示がない場合はまだ参加費納入の情報が反映されていないため、ステップⅡ（・Ⅲ）、クラウドシステムを利用することができない。情報が反映されたのを確認してから起動する。

②利用権限の変更がアプリに反映されていない（操作1 p.15、操作抜粋 p.15）

LD-SKAIP ステップⅡ（・Ⅲ）の講習会を申し込み、参加費を納入するとステップⅠのみの利用からステップⅡ（・Ⅲ）の仮利用に利用権限が変更になる。参加費納入前の状態でアプリにログインしている場合は、利用権限の変更をアプリに反映させる必要がある。インターネットに接続した状態で、「再認証」をタッチするか、ログインし直す。

なお、講習会を受講しなかった場合は仮利用期間が終了すると仮利用であったステップは利用できなくなる。

■クラウドシステムにログインできない

ステップⅡ講習会参加費を納入し、マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）に反映された後、クラウドシステムにログインすることができる。

ステップⅠのみの利用や、ステップⅡ講習会参加費納入が反映される前は、ログインすることができない。

■インターネットには常に接続している必要があるか

LD-SKAIP アプリを利用するのにインターネット接続が必要なのは下記の場合である。

- ・アプリにログインする
- ・検査結果データを同期（受信・送信）する
- ・再認証をする

ステップⅠ、Ⅱ、Ⅲを実施する際にはインターネットに接続している必要はない。

クラウドシステム、LD-SKAIP 利用者管理システムはインターネットブラウザでの利用であり、インターネット接続が必要である。

■クラウドシステムのログインページが分からない（操作1 p.37）

クラウドシステムのログインページ URL は下記である。

クラウドシステムログインページ：<https://www.skaip-sens.net/login/index>

*ステップ I のみの利用者はクラウドシステムにログインすることはできない。

■LD-SKAIP 利用者管理システムのログインページが分からない（操作 1 p. 30、操作抜粋 p. 30）

マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）は日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会のマイページからアクセスできる。下記 URL からマイページにログインし、画面下方の「LD-SKAIP 利用」をクリックする。

マイページログインページ：<https://jald-sens.org/entry/login.aspx>

■パスワードを忘れてしまった

パスワードは日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会マイページのログインパスワードと共通である。

パスワードを確認するには、マイページログイン画面に表示されている「ログイン ID・パスワードをお忘れの方はこちら」をクリックし、メールアドレス、リマインダの質問、リマインダの回答を入力してパスワードを確認する。

■LD-SKAIP ID を忘れてしまった

マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）にアクセスすると、左側の個人情報欄に LD-SKAIP ID が表示されているのでそこで確認する。

■操作マニュアルをダウンロードしたい

①ステップ I のみ利用（フリー利用者）

下記アドレスにアクセスし操作マニュアルをダウンロードする。

<https://skaip-sens.net/start/>

②ステップ II・III 利用登録者

クラウドシステムの「テンプレートダウンロード」－「共通」からダウンロードする。クラウドシステムのログインページは <https://www.skaip-sens.net/login/index>

*Internet Explorer では PDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のインターネットブラウザを利用する。

■回答用紙・記録用紙をダウンロードしたい（操作 1 p. 37～39）

ステップ II およびステップ III で使用する回答用紙、記録用紙はクラウドシステムの「テンプレートダウンロード」－「ステップ II」および「ステップ III」からダウンロードする。

[トップにもどる](#)

*Internet Explorer ではPDF の表示が不安定になることがある。その場合は他のインターネットブラウザを利用する。

■これまでとは別の（新しく購入した）iPad でLD-SKAIP のアプリを使いたいけどどんな手続きが必要か

一般社団法人日本LD学会/一般財団法人特別支援教育士資格認定協会には特に届けなどの手続きは必要ない。

これまで使っていたiPadで、これまでに実施した検査の採点を済ませ、クラウドシステムに検査結果を同期（送信）しておく。

使いたいiPadにLD-SKAIPアプリをダウンロードし、LD-SKAIP IDとパスワードでログインすれば利用することができる。これまで登録した児童については、ログインした時点で児童選択画面（検査）・（結果）に表示される。検査結果は検査ごとにクラウドシステムと同期（受信）することで、見るようになる。

■LD-SKAIP ステップⅡ講習会、ステップⅢ講習会を受講した者がS. E. N. Sの会支部会で伝達講習会を行ってもよいか

LD-SKAIP講習会を受講した者がS. E. N. Sの会支部会で伝達講習会を行ってもよい。その際、伝達講習会受講者がアプリを操作することも構わない。

ただし、伝達講習会はLD-SKAIP講習会の代わりにはならないため、LD-SKAIPを児童に利用するためには、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会主催のLD-SKAIP講習会を受講する必要がある。

■検査を実施する際は保護者に説明しなければならないのか

検査を実施する際は、基本的に対象者（未成年の場合はその保護者）の同意が必要である。「LD-SKAIP利用会員倫理綱領」を確認し、適切に利用する。

■ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢをそれぞれ別の日に行ってもよいか

ステップⅠ、ステップⅡ、ステップⅢを別日に行っても構わない。

ステップⅡの3つの検査（読字・書字・計算検査、音韻検査、視覚認知検査）、ステップⅢの3つの検査（読み検査、書き検査、算数検査）もそれぞれ別日に行っても構わない。

ステップⅢ算数では、実施する下位検査領域を選択できるため、下位検査領域ごとに別日に実施することも可能である。その場合、一度検査を実施すると、児童選択画面（検査）で児童が表示されないため、「検索」をタッチし、「実施済みを表示する」にチェックを入れて「検索」することで、児童が表示される。実施する下位検査領域を選択する際に、すでに実施済みの下位検査領域を選択しないように気を付ける。（操作3p. 55～56参照）

■検査を中断したい時はどうすればよいか

(所見は閲覧しなくてよく、休憩後続きから検査したい)

検査を中断したい場合は、LD-SKAIPの動作が止まっている(「次へ」ボタンをタッチしないと進まない)画面で、ホームボタンを1回押してホーム画面に切り替えたり、ホームボタンを2回押して、起動中の他のアプリと切り替えたりすることでデータを消すことなく検査を中断することができる。

検査に戻りたいときは、ホームボタンを2回押し、LD-SKAIPの画面をタッチすることで再開することができる。この時に誤ってスワイプ(アプリの画面に触れたまま上へ指をスライド)して画面から消してしまったり、端末の終了・再起動をしてしまったりするとデータが消えてしまうため注意する。

* iPadのバージョンによってアプリを終了する操作方法が異なることがあるため、それぞれの利用方法を参照すること。



ホームボタン



スワイプ

■ステップⅡ読字・書字・計算を中断し、そこまでの所見を確認したい時はどうすればよいか

ステップⅡ読字・書字・計算を中断し、そこまでの所見を確認したい場合、中断した課題以降の課題を検査者が「次へ」をタッチするなどして最後まで進め、検査を終了する必要がある。

その後ステップⅡ書字の採点を行い入力をする。ステップⅡ書字を実施していない場合は、採点画面を開き、「次へ」をタッチして最後まで進み「採点終了」をタッチする。(検査・採点を終了しないと所見を確認することができないため、終了した状態にする。)

その後、「所見」をタッチして所見を確認する。その際、児童が実施していない部分の所見も表示されるため注意する。

例：ステップⅡ書字「カタカナ聴写」まで終了して中断したい場合、検査者がボタンをタッチしてステップⅡ書字「視写」、ステップⅡ計算の最後まで進め検査を終了する。採点画面でステップⅡ書字「聴写」は児童の回答用紙を見て採点し結果を入力し、ステップⅡ書字「視写」は「次へ」をタッチしていき「採点終了」をタッチする。その後「所見」をタッチして所見を確認する。

■ステップⅡ読字・書字・計算を途中から実施し、実施分の所見を確認したい時はどうすればよいか

ステップⅡ読字・書字・計算を途中から実施し、実施分の所見を確認したい場合、実施したい課題の直前の課題まで検査者が「次へ」をタッチするなどして進めておき、実施したい課題から児童に実施する。(これまでに、当該児童でステップⅡ読字・書字・計算を実施している場合は、新たに児童登録を行い、検査を実施する。同じ識別名で同じ検査を実施すると、データが上書きされ以前のデータを見ることができなくなってしまう。)

その後ステップⅡ書字の採点を行い入力をする。ステップⅡ書字を実施していない場合は、採点画面を開き、「次へ」をタッチして最後まで進み「採点終了」をタッチする。(検査・採点を終了しないと所見を確認することができないため、終了した状態にする。)

その後、「所見」をタッチして所見を確認する。その際、児童が実施していない部分の所見も表示されるため注意する。

例：ステップⅡ書字「視写」から実施したい場合、検査者がボタンをタッチしてステップⅡ書字「ひらがな・カタカナ聴写」課題まで進めておく。児童にステップⅡ書字「視写」から最後まで実施し検査を終了する。採点画面でステップⅡ書字「聴写」は「次へ」をタッチしていき、「視写」は児童の回答用紙を見て採点し結果を入力する。その後「所見」をタッチして所見を確認する。

■検査実施後すぐに採点・同期しないといけないのか

■検査実施後すぐ別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施してもいいのか

検査実施後にすぐ採点・同期をする必要はない。検査後、すぐに別の検査を実施したり、別の児童に検査を実施したりして構わない。

検査データは自動で保存されているため、後日に採点、所見の確認、同期をすることができる。その場合はLD-SKAIP アプリからはログアウトはしないこと。(アプリを終了するだけではログアウトすることにはならない。詳しくは [「アプリを終了するとログアウトしてしまうのか」](#) を参照)

■アプリを終了するとログアウトしてしまうのか

アプリを終了(操作1 p.13)してもログアウトはしない。また、時間の経過により自動でログアウトすることもない。

メインメニューまたはステップⅡ・Ⅲスタート画面の「ログアウト」をタッチした場合にのみログアウトできる。(操作1 p.29)

■ログアウトは必ずしないといけないのか／ログインしたままでもよいか

ログアウトはしなくても構わない(ログインしたままでもよい)。ただし、共用のiPadであったり、児童や他の人がiPadを利用したりするような場合には、情報の流出防止ため必要に応じ

[トップにもどる](#)

てログアウトする。

ログアウトすると、下記のデータが削除され、確認できなくなるため注意する。

【ログアウトにより削除されるデータ】

- ・同期していない検査結果データ
(練習用に設定されている検査結果データ・未採点の検査結果データを含む)
- ・ステップⅡ音韻検査の音声データ
- ・ステップⅢ読み検査の音声データ

■ヘッドフォンは必ずつけて検査をしなければならないのか

ステップⅡ読字・書字・計算では、ヘッドフォンを着けることが推奨される。これは①音声を聞き取りやすくするため、②周囲の雑音を減らして児童が集中しやすいようにするためである。しかし、感覚過敏などのために着けるとかえって検査に集中しづらい場合は着けずに検査をしてもよい。

ステップⅡ補助検査：音韻では、児童の回答を録音するためにマイク付きヘッドフォンを利用する。しかし、ヘッドフォンを着けることが難しい場合は、iPad 本体のマイク機能で録音する。児童にははっきり大きな声で回答するように指示する。

■ヘッドフォンから音が聞こえない

ヘッドフォンから音が聞こえないと児童が訴える場合、次の点を確認する。

- ①プラグがイヤホンジャックの奥まで差し込まれているか確認。
- ②音が聞こえる画面であることを確認。(プラグを抜いてみて音が聞こえるか確認。)
- ③音が聞こえるか検査者がヘッドフォンを付けて確認。
→聞こえない：ヘッドフォンを交換する。
→聞こえる：児童にとっては聞きにくいという場合は児童に合わせて音量の設定をしなおす。

■ヘッドフォンをつけるのを嫌がる

ステップⅡ読字・書字・計算では、ヘッドフォンを着けることが推奨される。これは①音声を聞き取りやすくするため、②周囲の雑音を減らして児童が集中しやすいようにするためである。しかし、感覚過敏などのために着けるとかえって検査に集中しづらい場合は着けずに検査をしてもよい。

ステップⅡ補助検査：音韻では、児童の回答を録音するためにマイク付きヘッドフォンを利用する。しかし、ヘッドフォンを着けることが難しい場合は、iPad 本体のマイク機能で録音する。児童にははっきり大きな声で回答するように指示する。

■ステップⅢ算数で画面のメモに文字を書くのが難しい (操作3 p.45、p.55)

ステップⅢ算数のメモ機能はタッチペンを使って書くことを想定している。タッチペンの利用

[トップにもどる](#)

が難しい場合は、別途ホワイトボードとホワイトボード用マーカーや計算用紙と鉛筆などを準備し、使用する。

■ iPadの電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった

iPadの電源が切れてしまったり、アプリが途中で落ちてしまったり場合、それぞれの検査は下記のように検査データが保存されるようになっている。保存されているデータの次から検査を再開する。

【ステップⅠ】

1つ前のページまでの回答が保存されている。児童選択画面（検査）では実施状況が「未実施」と表示されるため、「実施する」をタッチして質問画面まで進み、続きから回答を行う。

【ステップⅡ】

最後の問題まで終了している課題について検査データが保存されている。児童選択画面（検査）では実施状況に「〇〇から」とどの課題から再開するか示されるため、「実施する」をタッチして続きの問題に取り組む

例：ステップⅡ読み「文の読み」の途中で電源が落ちた→ひとつ前のステップⅡ読み「無意味語選択」までの回答が保存されている。「児童選択画面（検査）」の実施状況には「文の読みから」と表示される。「実施する」をタッチして、続きの問題に取り組む

【ステップⅢ読み・書き】

検査が終了していないとデータは保存されない。児童選択画面（検査）では実施状況が「未実施」と表示されるため、「実施する」をタッチして検査を実施する。

【ステップⅢ算数】

1つ前の画面までの回答が保存されている。下位領域の区切りではなかった場合、上限下限が確定していない下位領域が存在することになる（検査者が操作して中断した場合は、下位領域の区切りの問題までしか保存されない）。【習得状況プロフィール】では正答率が「実施した設問のうち正答した設問数／全設問数（実施した設問数ではなく、その下位領域に含まれている全ての設問数）」と計算されて表示されるので注意する。

続きを実施する場合は、以下のように進める。

①途中で中断された下位領域のうち、すでに回答した問題について、実施中に検査者が記録用紙に取ったメモやステップⅢ算数の【習得状況プロフィール】【回答表示画面】で児童の回答を確認しておく。

②「児童選択画面（検査）」で該当する児童を選択する。一度ステップⅢ算数を実施した児童は実施終了者となり表示されないため、「検索」をタッチし、「実施済みを表示する」にチェックを入れて「検索」する（→操作3 p. 55～56 参照）。

③途中で中断された下位領域を含み実施したい下位領域を選択し、検査を開始する。すでに児童が実施済みの問題は検査者が回答を入力し、続きから児童に回答させる。

■アプリが固まってしまった

アプリが固まってしまった（画面をタッチしても動かない、音声流れない）場合は、アプリを一度完全に終了する。

終了するには、ホーム画面に戻り（iPad のホームボタンを押す）、iPad のホームボタンを素早く2回押して、起動中のアプリを表示させる。終了したいアプリを上方向へフリック（アプリの画面に触れたまま上へ指をスライド）し、画面上から消す。（操作1 p. 12～13）

これ以降は Q&A 「[iPad の電源が途中で切れてしまった・アプリが途中で落ちてしまった](#)」の項目を参照。

■アプリが正常に動作しない

以下の項目を確認の上、日本LD学会ホームページ問い合わせフォームから問い合わせる。

- ・ iPad のサイズ（例：9.7 インチ）
- ・ OS のバージョン（例：iOS11. 4. 1） 確認方法→[iOS のバージョンはどこで確認するのか](#)
- ・ アプリのバージョン（例：Ver 1.0(1.1.3)）
- ・ どのような流れで操作を行ったか

* iPad のサイズがわからない場合は、iPad の裏側下方にかかれた A から始まるモデル番号を確認する。（例：A1566）

* アプリのバージョンの確認方法：メインメニューまたはステップⅡ、Ⅲのスタートメニューの右上に表示された「Ver」の横に記載された数字がアプリのバージョンである。

■同じ児童に再度検査を実施したい（操作1 p. 21、操作抜粋 p. 21）

現在のバージョン（2019年1月）では、同じ児童（識別名）に複数回実施することに対応していない。同じ検査を同じ児童に複数回実施する場合、別の識別名で新しく児童登録を行う必要がある。同じ識別名で同じ検査を取った場合、後で行った検査のデータのみが残ることになる。古いデータは削除される。

次のバージョンでは、同じ児童（識別名）に複数回実施可能になる予定である。

■どれくらいあけたら同じ検査を再度検査してよいか

ステップⅠについては、特に期間の定めはない。

ステップⅡ・Ⅲについては1年程度の期間をあけることが目安となる。特にステップⅢ読みについては、話の内容を覚えてしまっていると学習効果がでる可能性が高いため、十分な期間をあけることが必要である。

■年度が変わったが同じ識別名で検査してよいか（操作1 p. 17、操作抜粋 p. 17）

年度が変わってから検査を行う際には新しい学年で児童の登録を行う。

例えば 2018 年度に 3 年生の児童にステップ I・II を実施し、2019 年度（4 年生）に入ってからステップ III を検査するとステップ III の検査は 3 年生用の課題で出題され、評価も 3 年生の基準値で行われてしまう。このため、2019 年度に入ってから検査をする場合には、4 年生として新たに児童登録を行い、ステップ III を実施する必要がある。この場合、ステップ I・II と連動した所見は出力されない。

■年度が変わったが、ステップ I は新しい担任につけてもらった方がよいか、前の担任につけてもらった方がよいか

ステップ I は児童のことをよく知っている教師につけてもらう方がよい。そのため、年度が変わってすぐの時期は 1 つ前の学年の担任につけてもらった方がより信頼性のある結果になると考えられる。

■検査を実施したのに、所見が見られない（所見ボタンがアクティブにならない）

ステップ II 読字・書字・計算、ステップ II 補助検査：音韻、ステップ III 読み、ステップ III 書きは検査後、採点を終了しないと所見を見ることができないため、採点を行う。

ステップ II 読字・書字・計算→操作 2 p. 22

ステップ II 補助検査：音韻→操作 2 p. 46

ステップ III 読み→操作 3 p. 18

ステップ III 書き→操作 3 p. 33

■音声データ（ステップ II 補助検査：音韻、ステップ III 読み）を聞くことができない

音声データはクラウドシステムへの同期対象外である。そのため、アプリからログアウトすると音声データは削除され、ログイン後も聞くことはできない。

ステップ II 音韻、ステップ III 読みは検査を実施したらできるだけ早く採点を終了させ、クラウドシステムに結果を同期するようにする。

■採点をしたのに「採点」のボタンが表示されたままになる

「採点」のボタンは採点の修正ができるように、採点が終了しても表示されたままである。

ステップ II 書字、ステップ II 音韻、ステップ III 読みは一度採点が終了した後、再度「採点」をタッチすると、採点済みのデータが表示されるため、該当部分のみ修正する。

ステップ III 書きは一度採点が終了した後に、採点を修正する場合には採点済みのデータは表示されず、再度作文をカメラで撮影する最初の段階からスタートとなる。

■クラウドシステムに結果データを同期（送信・受信）できない

■クラウドシステムで検査結果の閲覧・ダウンロードができない

①結果データを同期（受信・送信）するのにインターネットに接続していない

検査データを同期する際は、インターネットに接続している必要がある。インターネットに接続した状態でデータの同期を行う。

②講習会受講の情報が反映されていない

ステップⅡ（・Ⅲ）の講習会受講後から結果データの送信や、検査結果の閲覧が可能になる。なお、講習会受講から本利用が可能になるまでに5営業日程度かかる。マイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）でステップⅡ（・Ⅲ）の講習会の状況が受講済になっていない場合はまだ講習会受講の情報が反映されていないため、クラウドシステムへの結果データ送信や結果の閲覧・ダウンロード機能を利用することができない。情報が反映されたのを確認してから利用する。

③利用権限の変更がアプリに反映されていない（操作1 p. 15）

LD-SKAIP ステップⅡ（・Ⅲ）は講習会を受講すると仮利用から本利用に利用権限が変更になる。仮利用の状態ですべてのアプリにログインしている場合は、利用権限の変更をアプリに反映させる必要がある。インターネットに接続した状態で、「再認証」をタッチするか、ログインしなおすことで変更を反映する。

④日本 LD 学会／特別支援教育士資格認定協会のマイページでパスワードを変更した

LD-SKAIP アプリにログインした状態で、パスワードを変更した場合

手順1：LD-SKAIP 利用者管理システムにアクセスする（操作1 p. 30）

手順2：アプリのメインメニューでパスワードの変更を行う（操作1 p. 14）

手順3：データの同期（送信・受信）を行う（操作1 p. 24）

■結果を印刷したい

①検査データをクラウドシステムに同期（送信）する（操作1 p. 24）

②クラウドシステムにアクセスする（操作1 p. 37）

③該当児童の「所見 PDF」をダウンロードし印刷する（操作1 p. 39）

■結果を保護者に説明する際、結果データをそのままお渡ししてもよいか

保護者へ検査結果のデータのみをお渡しすることはせず、必ず報告書を作成してお渡しする。

■クラウドシステムでステップⅢ算数の回答内容が表示されない

ステップⅢ算数の回答内容は、アプリからクラウドシステムに同期されてはいるが、クラウドシステムで表示はされない。回答内容を確認したい場合は、LD-SKAIP のアプリで確認する。

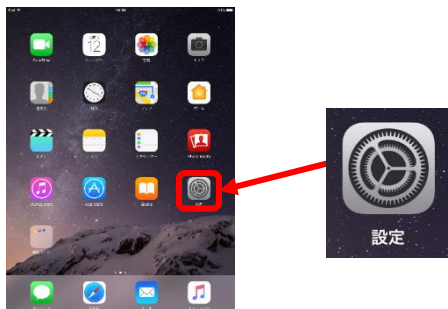
■検査データを同期したのに、「結果受信」のボタンが表示されない

「結果受信」はアプリから一旦ログアウトし、再度ログインした場合に表示される。「結果受信」を行うと「結果受信」は灰色になり、アクティブでなくなる。

■ iOS のバージョンはどこで確認するのか

iPad のソフトウェア（iOS）のバージョンを確認するには、下記のような手順をとる。

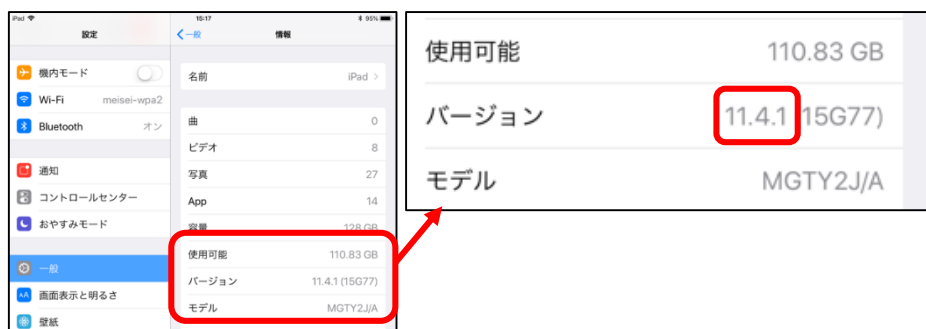
1. iPad ホーム画面にある「設定」をタップする。



2. 「一般」→「情報」の順にタップする。



3. 「バージョン」の横に記載された数字が、iOS のバージョンである。



■ iOS のアップデートとは何か

iOS（オペレーティングシステム）は iPad 等を動かすために使われる基本的なソフトであり Apple 社が開発をしている。より新たな機能の追加やバグ（プログラム中の誤り）の修正を行い公開される（アップデート）。iPad がインターネットに接続されていれば iOS のアップデートを反映させるか画面表示される。

iOS のバージョンは iPad の「設定」から確認でき、「11.4.1」のように表示される。

年に1回程度 iOS11 から iOS12 のように最初の数字が変わるような大きなアップデートが行われる。この際、新しい iOS に対応できずアプリが使えなくなることがある。

■LD-SKAIP アプリのバージョンアップはしないといけないのか

iOS のアップデートに対応できるように LD-SKAIP アプリもアップデートを行う。iOS のアップデートは対応できるアプリのバージョンアップが行われてから反映させるようにする。

アプリのバージョンアップはメールやマイページ（LD-SKAIP 利用者管理システム）のお知らせで案内する。